

Si-R GX500 V01.01 変更内容一覧

□機能追加・改善

No.	項目	追加内容
1	新規機能	以下の機能を追加しました。 <ul style="list-style-type: none"> ・RIPv2機能 ・NAT機能 ・端末接続監視機能 ・メディアスタート機能
2	DHCP機能	DHCP IPv4に、リレーエージェント機能を追加しました。
3	PPPoE機能	PPPoE回線QoS対応しました。(policy-map設定に、pppoeインタフェースを設定対象とする)
4	access-listコマンド	access-list コマンドに、description パラメータを追加対応しました。
5	消費電力表示	show system statusコマンドで消費電力表示を追加しました。(MIB取得も対応)
6	CLI機能	show ip ospf protocol コマンドをサポートしました。
7	データコネク機能	以下の機能を追加しました。 <ul style="list-style-type: none"> ・接続性能改善 ・IPv4対応 ・インナーパケット種別によるQoS対応 ・料金設定、課金制限機能
8	OSPF機能	clear ip ospf redistribute コマンドをサポートしました。
9	IF情報管理機能 (ifd)	show interface の表示内容に since値 を追加しました。

□修正内容

No.	影響範囲	修正内容
1	V01.00	ACL設定でicmpv6のtype指定時にtraffic-class, dscpが指定できない
2	V01.00	show network-stack buffer コマンドでカウンタ桁数が増えたときに見やすいようインデントを調整する
3	V01.00	以下のコマンドオプションを削除する pingコマンドの -i オプション
4	V01.00	OSPFの再配布フィルタのACL設定を変更したとき、即座に反映されるようにする
5	V01.00	interface設定のhelp表示で management が FastEthernet になっている
6	V01.00	copyコマンドでUSBにコピーした際に容量不足のエラーメッセージが不正になることがある
7	V01.00	show ipv6 prefix-listコマンド実行時に"% Unknown command."が表示される
8	V01.00	show ngn で表示される Total Time値 が clear ngn account remote コマンド実行時にクリアされない
9	V01.00	ログインプロンプトに日本語入力すると5分間入力停止になる
10	V01.00	import equipment-info コマンド実行後にsaveができなくなる場合がある
11	V01.00	設定済みIPv6 デフォルトルートと同じ設定を入力すると上書きされず追加される
12	V01.00	link-localをnexthopとしたIPv6スタティック経路が装置起動時に有効にならない